

私たちに できること

▪ 白杖とは、視覚障がいのある人が歩行の際に使用する白い杖のことです。安全確保やドライバーなどへの注意喚起などの役割もあります。

▪ 点字ブロックは1967年3月18日、岡山県立岡山盲学校近くに世界で初めて設置されました。白杖を持った視覚障がい者が車道を横断しているそばを勢いよく走り去る車を目撃した三宅精一さん（岡山県倉敷市）が、安全に歩行できるようにと考案しました。

視覚障害は、視力や視野によって、6段階の等級に分けられています。全く見えない状態「全盲」、わずかでも見える状態「弱視」のほか、視野の広さなど人によって見え方は異なり、市では205人に身体障害者手帳（視覚障害認定1級～6級）を交付しています。（令和2年2月14日現在）

高齢者人口が2040年には44.42%になるといわれている石岡市。障がいがあっても安心して暮らせることは、高齢者も安心して暮らせるということ。私たちが今からできることについて考えていきましょう。

☎社会福祉課 TEL 23-5569

光風荘の蛭沢さんと、沼田さんに聞きました

まちや駅で、**白杖**を使っている人がいました
どんな声掛けやサポートができるのでしょうか？

光風荘（谷向町）は、昭和62年に開所しました。視覚障害のほか、知的障害など重複障害のある人を対象にした施設で、日常生活上の支援、生産活動や創作活動を通して、身体能力や生活能力の維持向上のために、必要なサービスを提供しています。

行介助『ガイドヘルプ（手引き）』をする際には、自分の肘のあたりをつかんでもらいましょう。周囲の状況を説明する時は『あと少しで階段があります』ではなく『○mとか○歩くらいで階段です』など具体的な数字で伝えてください』

電車の開閉ボタンの前で…

「最近の電車のドア開閉は、ボタン式になっています。自動でドアが開かないため、ドアの外側に付いている開閉ボタンを見つければ、慌ててしまうことがありません。ドアの前で戸惑っている様子の人がいたら、ぜひ手を貸してください」

見守りは、命を守ること

見えていれば回避できる危険も、見えないことで命に関わる事態にも…。見守りは、

説明する時は具体的に

「視覚障がい者に付き添う歩

まず確認を

「いきなり肩や腕に触れられると、かなりびっくりするので『お手伝いすることはありますか？』と、まず確認してください。その際に『あなたに話しかけていますよ』ということが分かるように近づいて正面から『こんにちは』とあいさつする
とよいと思います」

命を守ることでもあります。

光風荘では、入所者の散歩時のガイドヘルプ（手引き）などのボランティアを随時募集中で、小学生を対象に、アイマスクと白杖を使った歩行体験や点字講座のほか、夏休みには親子向けの体験教室も開催。知っていれば、いざという時にサポートできます。私たちにできることから始めませんか。詳細は光風荘（TEL 22・5811）まで。



（写真右から）蛭沢保朋さん、沼田貴生さん

「歩くときは、音と点字ブロックが頼り」

まちを歩いていて、怖いと感じるのはどんな時ですか？ 額賀さんに伺いました。

「外を歩いている時は、周辺の音と点字ブロックが頼りなのですが、最近のハイブリッド車や電気自動車はエンジン音が静かで、近くを通っても気づかず怖い思いをしている人も多いようです。また、屋根のある場所だと音が反響してどこから聞こえ

てくるのか分からなくなることもあります」

白杖を持った人や、体の不自由な人が車椅子で通行している時は、一時停止や徐行して安全に通れるようにしましょう。

また、点字ブロックの上や周辺に、荷物や自転車などが置かれていると、大変危険です。付近には物を置かないようお願いします。



額賀秀夫さん
(石岡市視覚障害者協会会長)

ガイドヘルプ（手引き）をするときは

（良い例）肘の後ろをつかんでもらい、半歩前に出て、安全を確保する。周囲の状況を説明しながらガイドする。

（悪い例）手を持って前に引っ張ったり、後ろから押したりするのは、安全が確保できないので、やらないようにしてください。



良い例 ←
悪い例 →
(左) (右)



広報紙の情報を届けるボランティアさんたち

リーディングサービスひびきの会

▶ 1冊あたり1時間程度にまとめ、CD化して視覚障がい者の方に届けています。この活動は、昭和57年から始まり今年でなんと38年。現在、利用者は15人ほどです。

年に1回、ボランティアと利用者の交流会を行い、去年は茨城空港に出かけました。



▲ 録音したデータは、専用の機器からパソコンに取り込み編集してCD化されます



点字を学ぶ会 つくし

▶ 1冊あたり20ページにおさまるように、情報をまとめて広報紙を点訳し、希望者に郵送しています。現在、利用者は10人ほど。

そのほか、時刻表やごみカレンダーなど、希望する本や資料の点訳化も行います。希望する資料があれば、お問い合わせください。



▲ 点字はパソコンで打ち込み、専用のプリンターで印刷します



詳しくは、石岡市社会福祉協議会 (Tel 22-2411) までお問い合わせください。